



しがらみの素

皆さん、このような紙が届いていませんか？

これが有名な「しがらみの素」です。
〇〇長なる言葉を巧みに使い選挙前になるとこの町は「蝶」ならぬ「長」でいっぱいになります。
役場のOBの方々は言うまでもなく元町長までもが、この「しがらみの素」で拘束されます。これによりさも「現職を推さなければ仲間はずれ」みたいな閉塞感を生んでいるのです。ただし、これは旧来のやり方であって現職や町民の皆さんが望む方法でないかもしれません。

「新たなる課題が見えてきた」と言って青木町長が3期目の出馬表明。その新たなる課題とは何でしょう？
20の公約は誰が審査するのでしょうか？

統計^{*1}にある6市町村の中で総合ワースト1位、なる結果が全てを物語っているのではないのでしょうか？

日本においては失われた30年。
自分の年齢の中で10～15年ほどどこかに置き忘れてきていませんか？
下諏訪の高齢化率は5年後の日本です。
だから今、下諏訪から変えなくてはならないのです。
国や行政のみに頼るのでなく、我々自らが行政に参画して歩まなくてはならないのです。

もはや時間はありません。
この町を残すためにもしがらみを断ち、一緒に風を起こしましょう！

*1：ご希望の方はお申し出願います。

		貴殿を●●●●●後援会第 区	○ ○ ○ ○ ○ 殿
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 長に御委嘱申し上げます。	
平成二十四年八月吉日		格別のご協力を賜り度く右お願ひ申し上げます	
	● ● ● ● ● 後援会		
会 長	■ ■ ■ ■ ■		